

(別紙様式例3)

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：2024年 2月 28日

事業所名：放課後等デイサービス ガーネットみどりまち

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。
評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いいえ	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いいえ	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
環境・ 体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	1	1	7	・利用者数に対してスペースが狭く、最近は席数が足りないことも増えている。	15	4	0	4		活動に応じて備品配置を工夫し、安全に過ごせる環境整備を行う。利用人数や時間の調整を行う。
	2 職員の適切な配置	0	7	2	・一日あたりの職員の総配置数はちょうどよいが、常勤・非常勤職員が少なく、学生スタッフに頼っている部分が非常に大きい。 ・欠席が重なり、子どもの人数に対してスタッフの数が多くと動きに悩んでしまう時がある。 ・スタッフの欠勤や、利用者の増減などによって難しい場合もあるが基本的には適切であると思う。	18	0	0	5		常勤・非常勤職員の募集を検討していく。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備	1	4	4	・「いいえ」とは書いたが、構造的に限界があるので、致し方ない部分もある。 ・学習時、机の広さやスタッフとの距離も適切だと思うが、学習の時間が重なって机に向かう人数が増えると窮屈に感じる子どもがいるかもと感じる。	17	1	0	5		利用人数や時間の調整を行い、一人ひとりの広さの確保を検討する。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	5	3	1	・施設や設備は新しくはないが、利用者が快適に過ごせるように丁寧な清掃・整理整頓を意識している。また、安全点検も定期的に行っている。 ・清掃、消毒の頻度を把握できていないのでどちらともいえないところがある。静養室がスタッフもいると満員になるときがある。	22	0	0	1		引き続き、清潔を保ち、心地よく過ごせるよう月1の安全点検を実施する。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）への職員の積極的な参画	7	2	0	・常勤職員間では出来ているので、非常勤職員も巻き込んでいけるようにしたらもっと良いと思う。 ・今日のように行っているのか把握できていない。						業務分担に対する評価を実施する。
	2 保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施し、保護者の意向等を把握した業務改善の実施	7	2	0	・ミーティング時にアンケートの結果に触れることで、常勤職員が業務改善に向けて意識統一できている。 ・今日のように行っているのか把握できていない。						常勤職員だけでなく、非常勤職員にも情報共有する。
	3 自己評価の結果の公開	4	5	0	・ホームページに公開しているが、非常勤職員に確認まではできていない。						常勤職員だけでなく、非常勤職員にも情報共有する。
	4 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	1	6	2	・他事業所のスタッフに支援に入ってもらった時や、管理者ミーティングで報告をした時に評価をしてもらうことがあるが、職員には伝達できていなかった。						
	5 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	8	1	0	・回数は多くはないが、初学者にもわかりやすい研修を実施してくれていると感じる。 ・研修に参加できなくても、オンデマンド配信で受けられるようになっている。 ・eラーニングによる研修も始まった。						外部開催の研修や内部で計画した研修を確保する。
1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	7	2	0	管理者・児発管・担当職員が都度丁寧に行っている	22	0	0	1		常勤職員だけでなく、非常勤職員にも情報共有する。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標		
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見	
適切な 支援の 提供	2	児童発達支援計画又は放課後等 デイサービス計画における子 どもの支援に必要な項目の設定及 び具体的な支援内容の記載	9	0	0	管理者・児発管・担当職員が都度丁寧に行っている	21	1	0	1		
	3	子どもの状況に応じて、個別活 動と集団活動を適宜組み合わせ た児童発達支援又は放課後等デ イサービス計画の作成	7	2	0	個別・集団活動のバランスを意識してそれぞれの計画を 作成している						
	4	児童発達支援計画又は放課後等 デイサービス計画に沿った適切 な支援の実施	9	0	0	職員全体概ね達成できている	22	0	0	1		
	5	チーム全体での活動プログラ ムの立案	6	3	0	主たる担当はある程度固定化されているが、全体で都度 アドバイスし合うように体制を整えている						
	6	活動プログラムが固定化しない ような工夫の実施	2	7	0	昨年度の活動プログラムを改良して今年度実施している ので、ある意味固定化している	17	2	0	4		固定化の意味を再確認し、 工夫すべき点とあえて固定 化すべき点とを話し合う。
	7	平日、休日、長期休暇に応じた きめ細やかな支援	9	0	0	概ね出来ていると思うが、一部の小学生は曖昧になって いると感じる						
	8	支援開始前における職員間でそ の日の支援内容や役割分担につ いての確認の徹底	9	0	0	・毎回必ず実施している。 ・利用者が来所される前にスタッフでミーティングを行 い、1日の流れや、担当について共有が出来ている。						
	9	支援終了後における職員間でそ の日行われた支援の振り返りと 気付いた点などの情報の共有化	4	5	0	・当日中か翌日に振り返りの時間を設けている。職員自 らの発信・質問も多い。 ・18:00退社の為、終了後のことが把握出来ていない が、振り返りには参加したい気持ちはある。 ・スタッフそれぞれが、困ったことや上手く行かなかった ことを常勤スタッフに共有し、話し合うことができ ている。 ・スタッフ連絡ツールを通して、伝えられていなかった ことや困ったことを文章で共有しているようにしてい るが、導入してすぐは活用できていたが、時間が経つとあ まり活用されていない。口頭で確認し合うことが増えた ように思う。						非常勤職員の退社時間に振 り返る時間を当日中か翌日 に振り返る時間を確保す る。
	10	日々の支援についての正確な記 録の徹底や、支援の検証・改善 の継続実施	8	1	0	・管理者・児発管以外の常勤職員も、今年度に入りよう やく検証・改善のサイクルが少しずつ身につけてきて いると感じる。 ・Hugの入力を通して、記録を取り、担当スタッフがそ れを振り返ることで、改善に繋げることが出来ていると 思う。						
	11	定期的なモニタリングの実施及 び児童発達支援計画又は放課後 等デイサービス計画の見直し	3	6	0	定期的に行ってはいるが、本来の実施期間ではない時期 に行っている。期日を守るようになる必要がある。						
	1	子どもの状況に精通した最もふ さわしい者による障害児相談支 援事業所のサービス担当者会議 への参画	6	2	1	現状、管理者しか参画していないため、他の職員も担当 できるようにしていかなければならない。						

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標		
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見	
関係 機 関 と の 連 携	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	0	0	0	該当せず						
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	0	0	0	該当せず						
	4	児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	4	5	0	管理者・児発管が行っている						支援内容を常勤職員だけでなく、非常勤職員と共有する時間の確保をする。
	5	他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	6	3	0	管理者・児発管が行っている						支援内容を常勤職員だけでなく、非常勤職員と共有する時間の確保をする。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	3	5	1	・不明 ・連携はとっているが、研修の受講は活用できていない。						専門機関での研修の受講の促進をしていく。
	7	児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供	2	3	4	ごく最近、そういった機会を設けるようになった	3	2	0	18		他事業所との交流を増やしていく。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	1	5	3	・不明 ・地域住民を招待することはしていなかったが、地域のイベントには参加することもある。						地域住民との交流がないので、地域のイベントに積極的に参加して交流を深めていきたい。
	保 護 者	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	8	1	0	管理者・児発管が契約時等に丁寧に行っている	23	0	0	0	
2		児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	7	2	0	・管理者・児発管・担当職員が都度丁寧に行っている。 ・送迎の際にバタバタしながら伝えることが多い。	22	0	1	0		支援内容等の説明する内容を整理し、伝える。日時を調整する。
3		保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	2	5	2	・相談時等に都度、管理者・児発管が行っていると思われる。 ・保護者相談はしたとしても、ペアレント・トレーニングほどの内容まではできていない。	8	3	1	11		ペアレント・トレーニングができるようスタッフ育成を実施する。
4		子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	8	1	0	お迎えの際等に、日常的に情報共有・情報交換を行っているほうだと思う	22	0	0	1		

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標		
		はい	どちらとも いいえ	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いいえ	いいえ	わからない		保護者の方のご意見	
への説明責任・連携支援	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	8	0	1	管理者・児発管が都度丁寧に行っている。	18	3	0	2		送迎時に対処できるようスタッフ育成を追加していく。定期的に相談時間が取れるようにする。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	5	2	2	まだ一度しか開催していないが、参加者からは好評だったので、継続して行いたい	2	4	2	15	活動が有るのかも知れないが、参加した事がない	長期休暇の際には毎回行うようにしていく。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	7	2	0	・苦情は殆ど来たことがないが、普段の様子から、迅速かつ適切に対応できると確信している	12	2	0	9	苦情を聞いた事がない	苦情に対する研修に参加する。
	8	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	8	1	0	必要に応じて電話やHUGのメール機能を活用し、保護者と情報共有をするように努めている	23	0	0	0		
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	5	3	1	HUGを通じて、毎月数種類の活動概要や行事を利用者・保護者宛に発信している	22	0	0	1		常勤職員だけでなく、非常勤職員と共有する時間の確保をする。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	9	0	0	十分配慮されていると思う	21	0	0	2		
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	6	3	0	常勤職員間では周知できているが、それ以外の職員・保護者には十分に周知出来ていないと感じる	13	5	0	5		常勤職員だけでなく、非常勤職員と共有する時間の確保をする。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	7	2	0	数ヶ月に1回の頻度で、職員だけでなく利用者も巻き込み訓練を行っている	12	1	0	10	息子の利用時には行っていないと思う	毎月訓練の案内をする。
	3	虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	8	1	0	定期的に研修がある						
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童登壇	2	7	0	不明						常勤職員だけでなく、非常勤職員と共有する時間の確保をする。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	5	4	0	医師の指示書に基づいてはいいないが、おやつや活動プログラムで食物アレルギーのある子どもに対して日常的に配慮している						常勤職員だけでなく、非常勤職員と共有する時間の確保をする。
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	4	4	1	作成はしたが、事例が殆ど無いため活用には至っていない						常勤職員だけでなく、非常勤職員と共有する時間の確保をする。
子供の満足度	1	子どもは通所を楽しみにしているか					19	3	0	1		
	2	事業所の支援に満足しているか					22	1	0	0	丁寧に息子に寄り添っていただき、感謝しています。	

対象人数（事業者）9人 回答者数 9人 回収 100%

対象人数（保護者）50人 回答者数 23人 回収 46%